

事業所番号	4290800012
事業所名	(医)長愛会 グループホーム しまなまち
自己評価作成日	令和7年10月30日
運営推進会議開催日	令和7年12月23日
外部評価作成日	令和8年1月14日
提出日・公表日	令和8年1月19日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、各ユニット目標を決め、理念が実践できるようしている。また、入居者様一人一人の生活リズムやベースに合わせて支援するように心がけている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年は御幣作りは行わなかったが、敬老会の際に地域の方に来て頂いた。頻回ではないが、年1回は行事の時に地域の方に来てもらっている。週1回はヤクルトの訪問販売に来てもらっている。希望があれば、通所リハに来られている知人との面会の機会を確保している。	外出や外泊後の制限は継続中。友人と面会したくないから断つてほしいと言われる入居者様がいるが、繋がりを切るのはよくないため、対応を悩んでいる。		災害訓練の時に地域の方に参加してもらえるよう計画していきたい。(事務長)一度、関係を切ると戻すことは難しい為、その都度、面会を断るようにしてはどうか。今は会いたくないと話されているかもしれないが、今後変わるものかもしれない。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回、会議の際に施設の取り組みや入居者様の生活状況等の報告を行ったり、議題を決めて報告等行っている。また、身体拘束委員会の時に出た疑問等について委員会メンバーから助言をいただいている。	昨年、運営推進会議で話が出た、通所リハの利用者さんとの面会も継続できている。		今後もスタッフ間でケアの方法等で不安や疑問に感じた事は運営推進会議の中で有識者より助言をもらうようにしていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の時や電話等で介護保険係・包括主任ケアマネに相談している。解釈があつていてるか迷ったときは必ず確認している。情報共有は継続して行えている。	わからないことなどはその都度長寿介護課に相談していて、情報共有は出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1回委員会を開催し、身体拘束の3原則について再確認や日頃のケアが拘束に該当していないか検討している。委員会メンバーで解決できない事については、運営推進会議で報告し意見をもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	e-ランニングで高齢者虐待についての研修を受けている。また、委員会は年2回開催し虐待に当たる事例がないか、お互いのケアや言葉使い等、確認し合い改善に努めている。虐待の茅チェックリストのアンケートを行い、委員会で結果をまとめ職員に報告した。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のフロア一会議でケアの方法を共有し虐待防止に努めていく。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年は研修に参加していないが、分からぬ時は包括の社会福祉士に相談して助言を受けるようにしている。現在、成年後見制度を利用されている入居者様はいない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の契約の際に説明を行い、その場で疑問点等は話を受け理解・納得を得ている。入居後に契約等について質問を再度受けた事はない。9月から食事代の変更について各家庭に文書で説明した。確認や反対の意見はなかった。	食事代変更・行事食一部負担について各家庭に文書にて説明をさせてもらい、同意を得られた。特に質問等はなかった。9月から新料金で請求させて頂いている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に意見箱を設置している。運営に関する意見はない。面会時や電話等で要望があればその都度個別に対応している。昨年のアンケートで面談を希望する家族が多かったので、今年度実施した。	今年度は家族アンケートは実施していないが、個別面談の実施を行った。(3家族)日頃から毎月の手紙などで情報共有出来ているので面談まで必要ないと言ってくださる家庭も多かった。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、フロアーカ会議やスタッフ会議を開催している。その他にリスク委員会や業務改善委員会を開催し、意見があった事については全体で話し合い、改善策、解決策を検討している。年1回、アンケートと個人面談を行っている。			アンケートや面談で貴重な意見をもらっている。今後も働きやすい環境作りに努力していきたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年齢制限があるが、毎年給与が上がる仕組みとなっている。職員アンケート等を実施され、意見や要望などを聞いてもらっている。	(事務長)職員アンケートは無記名なので、かなり厳しい意見がでている。理事長や院長はそれでもいいとのことで実施されている。アンケートの結果も掲示されており、確認できるようになっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回は法人内で勉強会が開催。施設でも独自で開催している。また職能団体の勉強会に参加したり、外部の研修案内が来た時は職員に周知し、希望する研修に参加できるよう勤務調整している。日々の業務を見て力量を把握するように努めている。10月からはe-ラーニングが開始となった。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や介護支援専門員は定期的に開催されている職能団体の勉強会に参加し意見交換等が行えているが、介護スタッフは同業者との交流は出来ていない。法人内の看護師や介護士との交流はある。			他のGH等の運営推進会議等に参加できる機会があれば参加して、良いものを取り入れてサービスの向上に努めていきたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場における暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで得意としてきたことや状態に合わせて、洗濯物干しやたたみ、お花の手入れ、食器洗い、野菜を切る作業、新聞折り等、それぞれ役割を持って過ごしてもらうようにしている。			これからも自立した生活が継続できるように支援していきたい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員が本人の希望を聞いて、買い物やドライブ等の外出を計画している。知人からの電話や面会も多い。(受診帰りに寄られる方もいる)外出に関しては家族に依頼することもある。	急な外出希望には応えられていないが、日程調整を行い、外出支援は行えている。家族にお願いする事もある。		定期的に外に出たり、友人との関りが継続できるようにしていく。
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に意向を確認している。ある程度の決まりはあるが、食事の時間や場所等、本人の意向やその日の状態を見ながら対応している。			他者との関わりも維持できるようにレク等への参加は促していくたい。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は本人、家族に意向を確認し、計画作成者が行ったアセスメントを用いて原案を立案し、更新時のプロアーティスティックな意見を聞いて介護計画を作成する。その後は担当者が毎月の評価を行い、3~6か月毎に介護計画の見直しを行っている。	評価した分は毎月の請求書に同封して家族に見てもらっている。(家族)報告書が来るので状況が分かりやすい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子はケース記録に記入し、毎日、サービス実施計画書に記入し、毎月評価する。生活の中での問題点や改善点が出た際は申し送りノートやプロアーティスティックな意見を聞いて介護計画を作成する。その後は担当者が毎月の評価を行い、3~6か月毎に介護計画の見直しを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で話し合い、訪問診療時に主治医に報告し状態に合わせた介護を提供している。(食事形態や介助方法)菊地病院以外の受診についても家族が対応困難な場合は代わりに付き添っている。	急な受診に関しては施設で対応し、家族に情報共有している。市外の受診に関しては家族にお願いしており、市外の病院に付き添いは今年度はない。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前より少なくなっているが定期的に外出している。個別に買い物に出かけたり、施設周辺の散歩。年に数回は花見等に出かけ四季折々の景色を楽しんでもらうようにしている。	個々の希望に沿った外出や年間を通して外出の計画を行っており、四季を感じてもらえるような取り組みは継続できている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニット月2回(火)は訪問診療を受けている。訪問時以外の時でも医師に相談しやすい環境である。医師から家族に病状説明も随時行ってもらっている。家族が送迎可能な時はかかりつけの歯科を受診してもらうが、それ以外は歯科の往診を依頼している。			報告が遅い時があるので、早めに報告して対応できるようにしていったい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	菊地病院入院時は医師や看護師に定期的に状態の確認をしている。菊地以外の場合は地域連携室に連絡をし状態を確認している。入院時には入院時情報提供シートを3日以内に交付するようにしている。	菊地病院やそれ以外の病院とも入退院時の連絡・調整は行えしており、今の所問題はない。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援を取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期に近づいてきた際は、主治医と家族と今後について話をしている。入居時には必ず看取りについての説明を行っている。市内であったACPの研修にも参加した。昨年度は1件、看取りを行った。	看取り期のスタッフの不安やストレス等の負担は大きいが、全スタッフ協力して取り組んでくれている。ACPの動画も今年度視聴したり、eラーニングで勉強もした。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の負担は大きいので、負担を軽減できるようにしていきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応マニュアルは作成している。初期対応の訓練は定期的に行なってはいるが、e-ラーニングで急変時の対応の研修を受けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時の避難計画やBCPは作成しており、年2回ずつ、訓練と研修を行っている。地域との協力体制は整っていない。	実地指導で実施に当たって地域住民の参加が得られるよう連携に努めるようにとの意見があった。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の消防団等との合同訓練が行えるようにしていきたい。
<b>III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇の研修を行い、言葉かけ等には十分注意している。また、申し送り時に職員が誰の情報を共有しているか分からないように部屋番号を用いて伝達している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事やレク等ある程度の決まりは設けているが、本人の希望や生活リズムを尊重して過ごしてもらっている。自分から訴える事が難しい方には答えやすい質問をして意思の確認を行っている。			
28	食事を楽しむことでの支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いを把握し、個人にあった形態で提供している。誕生日は本人の食べたい物を確認して提供している。時々、調理の手伝いや片付けを一緒に行う。行事の時は材料の切込み等をお願いしている。	一緒に盛り付けや片付け、おやつ作りをしている。嗜好に合わせたメニューや季節の行事食を提供し、入居者様が楽しめる食事となるよう努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士による献立作成。食事量のチェック、10時・15時の水分補給を確実に行っている。夜間も居室にお茶を置いて好きな時に飲めるようにしている。	体重管理等を行い、定期的に主治医より指導・助言を頂いている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを実施。舌ブラシ等を用いて自分で行えない人は介助している。週2回は義歯洗浄。歯科医師や歯科衛生士の方に助言を受けている。	今年度、病院STに勉強会をお願いした。また、気になる人がいる場合は嚥下の確認をしてもらっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間にオムツを使用される方も可能な限り、日中は紙パンツにバト等で過ごしてもらうようにしている。本人に合わせて下剤を飲む時間や量等を調整している。ヤクルトを購入したりしている。	日中はできるだけトイレで排泄ができるよう定期的に声掛け誘導している。排便コントロールについては看護師、主治医と相談しながら調整行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	回数は週2回と決めているが、入浴日や順番は受診等によって変えている。同性介助を希望される方は入浴日の調整を行う。	月・火か木・金で2回は入浴できるようにしている。拒否がある場合は翌日に再度声掛けしている。以前のような拒否は少なくなった。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースに合わせて過ごしてもらっている。自分から訴えがない方に対してはどちらから声掛けし同意を得て居室に戻るようしている。不眠の訴えがあるときは、話を傾聴したり、飲み物を渡して暫くソファーで過ごしてもらっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	副作用等については主治医や薬剤師、看護師に確認している。薬の変更時は情報を共有し、異常がある場合は看護師、主治医に報告している。	本人の状態の変化等について医療関係者に情報提供し、また職員間でも用法や副作用についての情報共有を行い服薬支援を行っている。また、薬剤師にも相談し助言をもらっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみやゴミ捨て等を行ってもらっている。買い物やドライブ等の外出、施設周辺の散歩等を行っている。レクでカラオケをしたり、調理レク等も定期的に行っている。	お手伝いをしてくださる入居者様が多く、洗濯物たたみや皿洗い等をお願いしている。平等に手伝ってもらえるように振り分けている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力もあり、美容室や夫のお見舞いや自宅への外出や法事に出席されたり、外泊を行った方もおられる。帰設後の制限はあるが、希望の外出が出来ている。施設の行事としてコスモスや菖蒲見物等も行っている。	車椅子の方もリフト車や近所であれば車椅子を押して外出し気分転換を図っている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数名は自分でお金を管理されている。基本は施設で管理しており、外出時に預かり金を渡している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を持っている方は自分でかけたり、援助している。(6名)施設の電話からかけられる方もいる。年賀状や手紙を書く支援も行っている。			テレビショッピングを見て購入の電話をかけたりされることがある。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ベッドの配置等は本人の身体機能に合わせて配置している。居間等の環境整備も季節にあわせて壁のレイアウトや歌の歌詞等を変更している。車椅子の移動が邪魔にならないように動線には物を置かないように配慮している。	壁の貼り絵等は季節のものを掲示し、ベッドの配置や動線も配慮している。明るく家庭的で居心地が良い空間作りを心掛けている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

#### IV. 本人暮らしの状況把握 確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部屋に帰りたいと言われた場合は居室へ誘導している。食事やレクの時間まで過ごしたい場所でゆっくり過ごしてもらっている。散歩を希望された場合も後回しにせず対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の感染状況により帰設後、4日間部屋待機等の制限はあるが、外出や面会等の制限は少し緩和されている。			その時の感染状況により制限は随時変更していく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝、バイタル測定、入浴時は皮膚状態の観察や軟膏塗布等、個別に合わせた対応を行っている。また、体調不良の訴えがあつた時は看護師や主治医に報告し指示をもらい、必要あれば受診している。	協力医療機関と連携を図りながらケアを行っている。看護職の指導の下、介護職もケアにあたっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のベースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の基本的な時間の決まりはあるが、その日の状態により起床時間や食事時間等を本人のベースに合わせている。また、居室で食事を希望される場合は居室へ配膳している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅からテレビやタンス、お位牌を持ってきたりされている。持ち込みの制限はないが、居室に入る限度はある。	広さによる制限以外は在宅生活により近づくようななじみの物の持ち込み可としている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外泊や法事等で外出される方もおられる。食事を伴う外出に関しては帰設後、4日間は居室待機で健康観察している。買い物や散髪等、家族との外出も増えている。	外出時の会食や感染状況に応じて居室での待機期間を設けているが、理解してもらっている。今の所、外出や外泊後に感染症を発症した入居者様はいない。		その時の感染状況により制限を変更する。制限なしは現状難しい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	作業を行う前には本人に確認して作業を依頼している。洗濯物干しやたたみ、新聞折り、食器洗い等。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様同士、居室のベッドに腰かけて会話したりされている。難聴の方の場合は職員が間に入り会話の援助を行っている。歌や体操、レクを通して声を出してもらい、笑ってもらえるように心がけている。	入居者同士のコミュニケーションの機会を作るための支援が行われており、利用者の特技などを生かしながら自分の役割を得ることで生き生きと過ごせる関りが出来ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方々との交流は行事の時にしか出来ていない、施設周辺の散歩時に話をしたりする事もある。	散歩時に通りすがりの方とお話することはある。		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や外泊に関して制限はあるが、行事への参加や面会等に関しては緩和しており、少しずつ以前の日常を取り戻せている。家族や友人との交流は増えており笑顔が多くなった感じる。(面会も居室で可)健康面でも、その都度主治医に相談し、助言をもらったり、診察してもらっているので安心して過ごされているのではないかと思う。	(家族)近くに病院があるので何かあるとすぐ診察していただけるので安心。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	